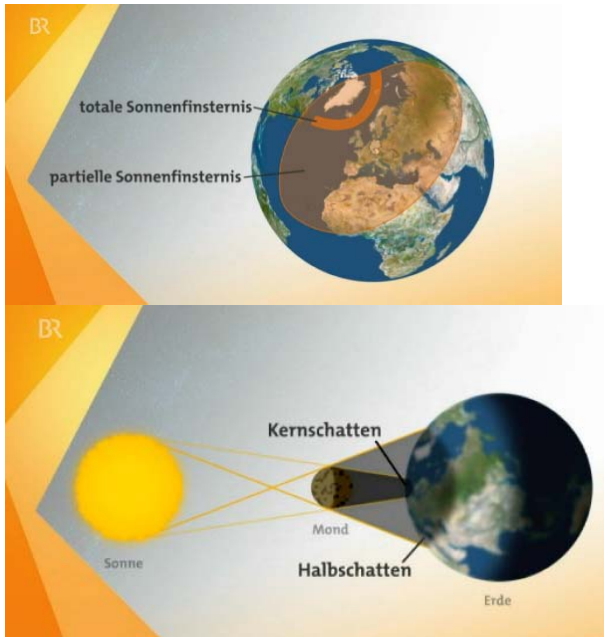
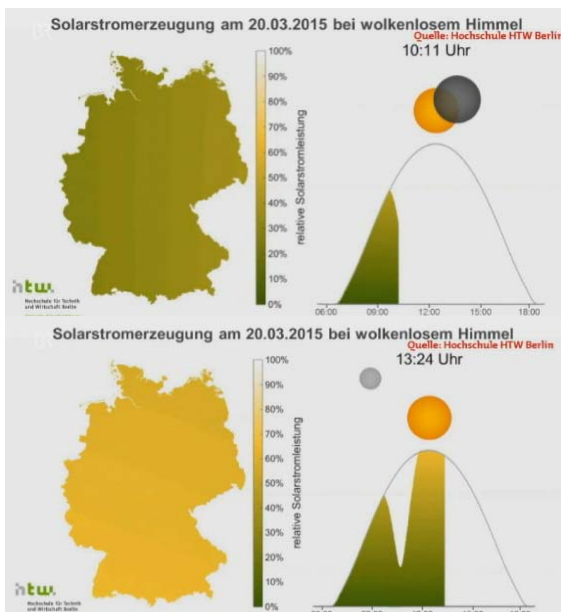


2015年3月20日の部分日食 バイエルンの太陽光発電

今週金曜日は、ドイツでは、部分日食（ノルウェーの一部地域では、皆既日食、下図）現象を観測できるが、その際の太陽光発電への影響が懸念されている。



太陽光発電はじめ、様々な発電電力を最適に組み合わせ電力供給している欧州では、各発電源からの比安定した供給を想定し、持続的電力供給をプログラムしている。

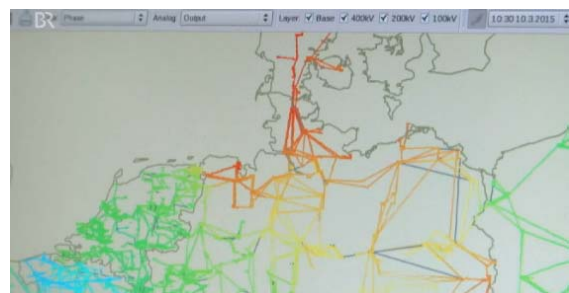


ドイツ、バイエルン州では、快晴だと、現在設置されている全太陽光発電パネルで19Gwの電力を供給できる（通常の石炭火力発電所19基に相当）。今回の日食では、バイエルン州は、午前10時から正午にかけ、Max. 68-70%太陽が覆われるが、（左下図）かなり電力消費量が高い時間帯なので、快晴の場合は、火力発電等、他の発電とのコンビで最適電力供給をしている太陽光発電から瞬間的に供給不足となり、最悪の場合は、Blackoutが起きる可能性もある。



バイエルン州の太陽光発電

ミュンヘン、ディンゴルフィンガーシュトラッセ(Dingolfingerstr.)にある欧州全体の電力最適供給コントロールセンターTSCNET Service（下図）では、この危機をさけるために、1年前から、あらゆる天候状態を想定して、当日の電力供給の安定保持にチャレンジ。



赤い部分が余剰発電供給、青い部分が送電リクエスト

Info Scout by Setsuko Schwarzer 16.03.2015

(参考資料)

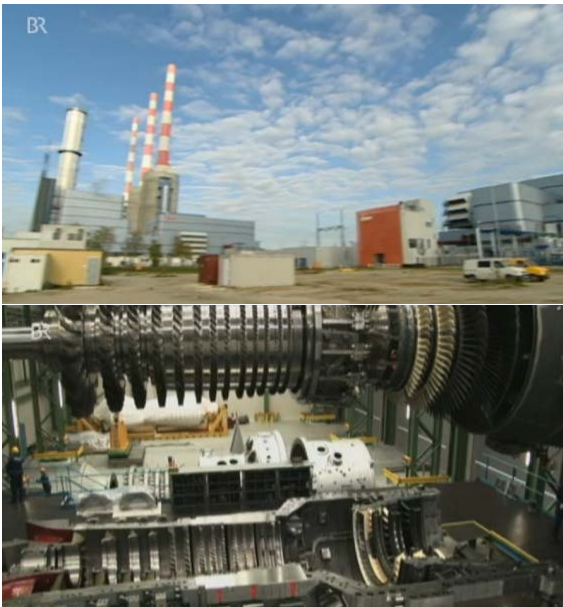
<http://www.br.de/mediathek/video/sendungen/abendschau/sonnenfinsternis-stromnetz-blackout-100.html#time=&tab=bcastInfo&jump=tab&time=&time=>

<http://www.br.de/mediathek/video/sendungen/abendschau/partielle-sonnenfinsternis-100.html>



3月20日にそなえる TSCNET Service スタッフ

政治的理由で現在停止中のイルシング（Irsching）にあるエネルギーコンツェルン、E・Onの最新ガス発電所の稼働もバックアップとしてセット。緊張した面持ちで、3月20日に備えている。日食観測者には、気の毒ではあるが、曇っていたほうが、太陽光発電量の偏差が少なくなるので、コントロールセンターの関係者は、ほっとする。



バイエルン州インゴルシュタット（Ingolstadt）の近郊、Irschingにある欧州で最新のE・onのガス発電所。最新設備であるにもかかわらず、再生可能エネルギー発電政策の狭間で、稼働できない状態にある。3月20日は、快晴の場合は、太陽光発電のバックアップとして、即稼働する。